

西東京市まちづくりオープンハウス(12月開催)について

1. 概要

(1) 実施目的

都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定の概要、令和3年度に実施した基礎調査や令和4年度に市が検討してきた内容について、市民を対象に広く情報発信する。また、市に対して市民が求めているものなど、アンケートを通じて意見を伺う。

(2) 開催概要

項目	内容
名称	西東京市 まちづくりオープンハウス
対象	年齢や居住地に関係なく全ての市民(市外居住者も含む)
開催日時・開催場所	市内6ヶ所の会場で開催 12月12日(月)16時30分から19時30分まで 柳沢公民館 12月13日(火)14時30分から17時30分まで 東伏見ふれあいプラザ 12月14日(水)13時30分から16時30分まで イングビル(田無駅) 12月15日(木)16時30分から19時30分まで ひばりが丘図書館 12月16日(金)16時30分から19時30分まで 下保谷福祉センター 12月17日(土)13時30分から16時30分まで いこいの森公園
参加者募集方法	市ホームページや市の公式 SNS で周知するほか、市の施設に案内チラシを掲示

(3) 意見収集の方法

意見用紙によってまちづくりに対する自由な意見を伺いました。

(4) パネルの構成

パネル	内容
1	都市計画マスタープラン・立地適正化計画の概要、検討フロー
2	こどもまちづくり研究会 実施概要
3	まちづくりオープンハウス(9月開催) 実施概要
4	西東京市のみどり・農地に関する取組
5	将来都市像(案)・まちづくりの目標(案)
6	将来都市構造(案)
7	分野別のまちづくり方針(案)① 土地利用
8	分野別のまちづくり方針(案)② みどり・水辺・都市景観、防災まちづくり
9	分野別のまちづくり方針(案)③ 交通環境整備、人と環境にやさしいまちづくり

(5) 参加人数

会場	柳沢	東伏見	イングビル	ひばりが丘	保谷	いこいの森	計
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0
18～64歳	3	2	2	1	2	3	13
65歳以上	1	1	2	0	3	5	12
市外在住	4	0	2	1	0	4	11
参加人数(人)	8	3	6	2	5	12	36

2. オープンハウスの実施風景



3. オープンハウスで挙げられた意見のまとめ

(1) こどもまちづくり研究会・まちづくりオープンハウスについて

○こどもまちづくり研究会に賛同する意見や、さらなる市民参加を求める意見がみられました。

【主な意見】

- 子どもの意見を伺うのは西東京市らしさが出て良いと思う
- 情報発信が弱い。市民を巻き込んだまちづくりをしてほしい

(2) 将来都市像、まちづくりの目標について

○みどりの保全や駅周辺のにぎわいづくりに関する意見がみられました。

【主な意見】

- 商・住・緑のバランスの良いまちづくり
- 大きな道路整備やみどりの維持、駅周りのにぎわいが大事
- 駅の周りにはにぎわいが大事
- 防災・防犯を考慮したまちづくり

(3) 将来都市構造について

○駅周辺のにぎわいづくりに関する意見や、防災に関する意見がみられました。

【主な意見】

- 駅周辺の商業発展が必要。高架化が起爆剤となる
- 都市計画道路の整備は防災上重要
- 東伏見公園と連携した、子どもが楽しめるまちづくり

(4) 分野別方針について

①土地利用の方針

○みどりの維持や防災についての意見がみられました。

【主な意見】

- 農業振興を進めてほしい
- 駅前には図書館がほしい。文教都市になってほしい
- 狭小住宅が目立つため、火災が不安

②みどり・水辺・都市景観の方針

○みどりの保全や公園の管理・活用に関する意見がみられました。

【主な意見】

- 畑・公園・みどりを残して欲しい
- 住居のみどりもだんだん減ってきていると感じているので、増やすまたは維持していきたい
- 畑・森・みどりはとても重要
- 小規模公園の活用
- 維持管理は市民協働の記載があると住民側も入ってきやすい
- みどりも災害時に逃げられる場所として重要
- 公園内のルール緩和、スポーツ環境の整備
- 景観は重要、きれいな水環境を求める

将来都市構造(案)



分野別のまちづくり方針(案)① 土地利用



分野別のまちづくり方針(案)② みどり・水辺・都市景観、防災まちづくり



③防災まちづくりの方針

○避難や緊急車両の通行のための道路整備を求める意見がみられました。

【主な意見】

- 西武柳沢駅周辺から避難所までが遠い。道路が狭く行くのに大変
- ハード・ソフトのバランスが重要
- 行き止まりが多く、緊急車両が抜けられない

④交通環境整備の方針

○道路の安全性確保や踏切の解消、駅前広場整備に関する意見がみられました。

【主な意見】

- 道路・歩行空間の幅員拡幅(自転車が怖い)
- 自転車、車、歩行者の共存
- 都市計画道路だけでなく、市道など普段使いの道路の安全性向上
- 踏切の解消、立体高架整備
(福泉寺通りとかえで通りの接続による保谷駅の南北交流)
- 旧青梅街道が狭くて危険
- 田無駅の南口広場を早急に整備してほしい

⑤人と環境にやさしいまちづくりの方針

○障がい者や高齢者などが安全で快適に生活できるまちづくりを求める意見がみられました。

【主な意見】

- 車いす利用者が傘をさして安全に通行できるような歩道が欲しい
- 子供の意見を聞くのも良いが、高齢者のまちになっていくので高齢者に配慮したまちを考えてほしい

(5)その他自由意見

- 商業的なにぎわいが必要
- 地域課題を話し合える拠点がほしい
- ひばりが丘駅北口の商店街活性化
- 空き家活用を進めてほしい
- 共助、コミュニティが重要であり、公民館が地域のコミュニティ形成において重要
- 最低敷地面積は重要。武蔵野市、清瀬市と比べて少ないと感じる

分野別のまちづくり方針(案)③ 交通環境整備、人と環境にやさしいまちづくり

